

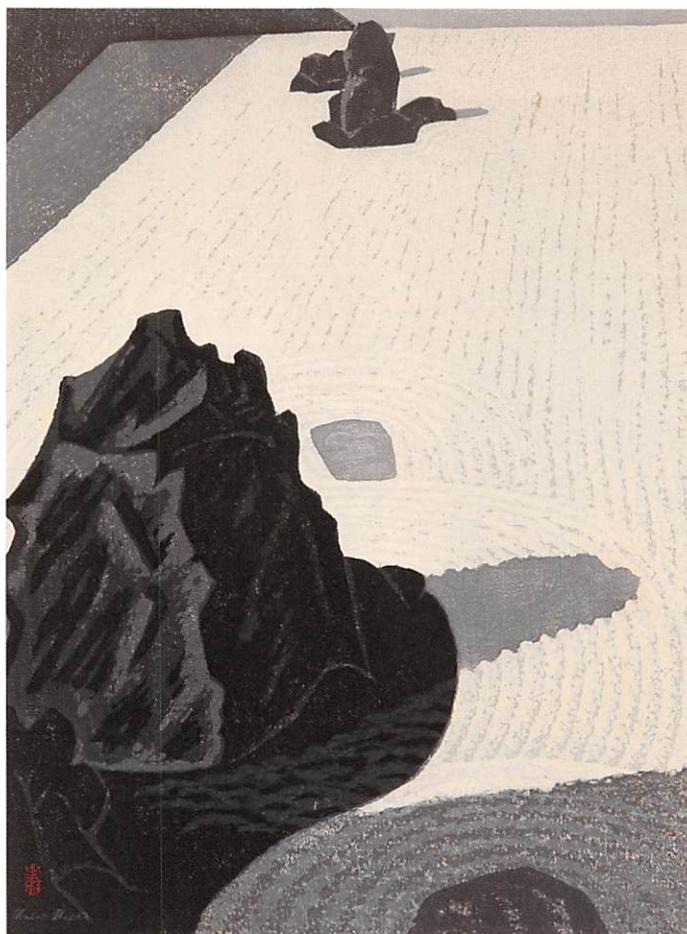


アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025

<http://www.artepia.or.jp>



前田政雄 《石庭・竜安寺A》

1960（昭和35）年 木版・紙 59.5×43.9cm （北海道立函館美術館蔵）

函館に生まれた前田政雄（1904 - 1974）は1924年、当地を訪れた版画家平塚運一との出会いをきっかけに上京、その門下に入り国画会や日本創作版画協会に出品するなど意欲的に活動を始めます。1931年に結成された日本版画協会には第1回展から参加、すぐに会員に推挙されるなど、昭和初期の創作版画運動で頭角を現しました。1944年、国画会で戦前最後の会員となり、その後も同会や日本版画協会を舞台として活躍、日本の近代版画史に足跡を残しています。

本作は1950年代までの山岳風景に加え、晩年の重要なモチーフとなった石庭を初めとした古寺名刹のシリーズの一つです。手前に大きな石を配置する

ことで画面に奥行きを持たせています。また、写真図版などで一見すると、余白の多い表現に見えてしまいが、実作を目にすると、実は白の摺りが大変美しく存在感のある〈色面〉であることがわかります。

前田政雄の作品は、生涯を通じてそのほとんどが風景を題材としたものです。そこで前田は、一貫して日本的な美を追求してきたといってもよいでしょう。ここでも、モノトーンに近い抑え気味の色彩、そして美しい摺りの仕上がりが枯山水の持つ簡潔にして深淵な美しさを的確に表現しています。

（道立函館美術館主任学芸員 大下智一）

<旭川美術館開館30周年記念>

愛のヴィクトリアン・ジュエリー

～華麗なる英国のライフスタイル～

北海道立旭川美術館 学芸員 及川 昌樹

Victorian jewelry of love

華麗なる ヴィクトリア朝



19世紀、ヴィクトリア女王が在位したヴィクトリア朝は、イギリスの歴史の中で、政治面、経済面において最も繁栄した：という話はどこかで聞いたことがあるかも知れません。一方で、ヴィクトリア朝は文化面で、特にファッションやジュエリーの世界において華々しい発展が見られた時代でもありました。経済成長によって台頭する中産階級。彼らは

ファッションやジュエリーに強い関心を抱きました。とりわけジュエリーの需要は高まり、各植民地の鉱山から手に入れた多様な素材で、ありとあらゆるジュエリーが作られるようになります。そして彼らにとつてのファッションリーダー、もつといえはライフスタイルをリードする存在が、ほかでもないヴィクトリア女王だったのです。冠婚葬祭でのスタイルやアフタヌーンティーの習慣など、女王の一挙手



<若き日のヴィクトリア女王>
1842年頃 F.X.ヴァンター-ハルター工房 イギリス

一投足は人びとを魅了し、流行となり、やがては定着していくのでした。

愛情に満ちた女王



ではヴィクトリア女王とはどのような人だったのでしょうか。身長は145cm

ほどと小柄なうえに体重70キロを超える太り過ぎの体型。心地よい澄んだ声の持ち主だったようですが、決して美人とはいえない人でした。気性が荒く、激昂しやすい性格だったとも言われています。人びとはなぜヴィクトリア女王に魅了されたのでしょうか。



<モーニングドレス>
1870年頃 イギリス

ヴィクトリア女王は18歳で即位した後、間もなくアルバート公と結婚します。仲睦まじい夫婦であり続け9人の子どもに恵まれました。出産や子育ての間、女王は公務から遠ざかり、夫のアルバート公が主に公務を行いました。子どもが多かっただけにその期間も長くなり、アルバート公が仕事を、ヴィクトリア女王は子育てを、というロイヤルファミリーのイメージが定着していきます。さらに、アルバート公が亡くなってから自身が亡くなるまでの長い間、女王は喪に服し続け、黒い服以外は決して着ませんでした。当時、夫は仕事に出かけ、

女王の愛情はジュエリーにも込められ、人びとを魅了します。女王が結婚当初から

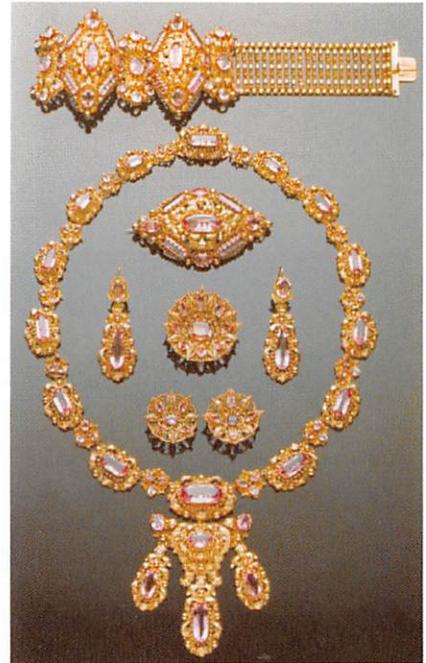
ジュエリーに込められた愛



共感を呼び、ファッションや習慣を含めそのライフスタイルは多くの人びとを惹きつけました。

妻は家事と子どもの世話という中産階級家庭が増えており、彼らの目にはロイヤルファミリーが理想的な家庭像として映ったのです。

そしてヴィクトリア女王は愛情に満ちた女性として共感を呼び、ファッションや習慣を含めそのライフスタイルは多くの人びとを惹きつけました。



<ピンクパール&カラーゴールドスイート> 1830年頃 イギリス



<ターコイズ&ゴールドブローチ> 1830年頃 イギリス

特に好んで日常的に身につけたのが「センチメンタルジュエリー」でした。「センチメンタルジュエリー」とは、ハート形や花言葉を持つ植物、象徴的な動物などをモチーフにしジュエリーに意味を

もたせ、愛情を表現するとい

もたせ、愛情を表現するとい... 鳥がくわえているわすれな草は「私を忘れないでください」という意味が「ターコイズ&ゴールドブローチ」、蛇の



<リガードパドロックペンダント> 1820~30年頃 イギリス

Diamond(ダイヤモンド)の順に宝石をならべ、頭文字をとって「REGARD(敬愛)」を表すものがあり、贈り物としてよく作られました。(リガードパドロックペンダント)このように、愛やメッ

モチーフには「寿命より長生きする愛」という意味が込められています。(リング「蛇」)おもしろいものでは、Ruby(ルビー)、Emerald(エメラルド)、Garnet(ガーネット)、Amethyst(アメジスト)、Ruby(ルビー)、Diamond(ダイヤモンド)の順に宝石をならべ、頭文字をとって「REGARD(敬愛)」を表すものがあり、贈り物としてよく作られました。(リガードパドロックペンダント)このように、愛やメッ

セージを込めた「センチメンタルジュエリー」は、当時多くの女性の共感を呼び、大変な流行となりました。愛にあふれた女王像がもたらしたジュエリーと言つて良いかも知れません。

また、ダイアナ元妃が実際に身につけていたリングも出品されます。時代を超えて輝く宝石たち。そこに込められたメッセーじに、心ときめかせてみませんか？



<リング「蛇」> 19世紀初頭 イギリス

他にも...

本展覧会では、当時のリングやブレスレット、ブローチなどのアンティークジュエリーの他、ウエディングドレスやレース、ティーンセットなど約200点によって、ヴィクトリア朝の輝かしい栄華のさまをご紹介します。



開館30周年記念
北海道新聞創刊70周年

愛のヴィクトリアン・ジュエリー展
～華麗なる英国のライフスタイル～

道立旭川美術館
9月4日(火)～11月7日(水)

《猫》が気になる。

2012年
9月8日(土)～
10月21日(日)
北海道立
三岸好太郎美術館



三岸好太郎の当館所蔵の人気作に《猫》(1931年)があります。猫が服を着て、腕組みをして立つ姿というユニークなもの。その実態は謎に包まれています。芝居のキャラクターにも見えませんが、宮澤賢治の童話に出てくるような擬人化された猫なのかもしれません。展覧会導入部では、この作品の背景を追いながら、ファンタジーやナンセンス、ユーモアといった、昭和初期の文化・風俗の世界に潜り込みます。また、この《猫》と遊ぶ、おぼけのマールルの絵(中井令作)や、この作品の立体化を試みたものも出品の見込

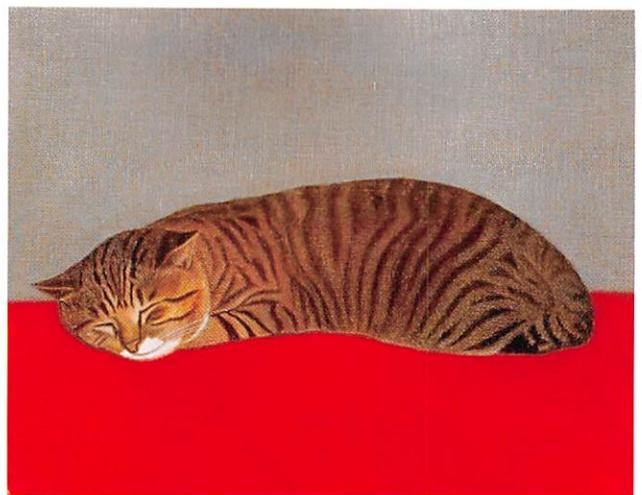


三岸好太郎《猫》1931年 北海道立三岸好太郎美術館蔵

みです。さらに本展の見どころは他作家による猫が描かれた作品です。浮世絵、日本画、油彩、素描、版画、立体などによる様々な猫が登場します。特筆されるのは、猫の最高傑作のひとつ、長谷川瀧二郎の《猫》(1966年、宮城県美術館蔵)がお目見えすることです。この猫には右側の髭がありません。美術エッセイ「気まぐれ美術館」で名高い洲之内徹が、この作品を作者から購入しようとした時、「髭をまだ描いていない」という理由で延々と待たされたそうです。画家はこの猫(タロー)が絵と同じ格好で寝るタイミングをずっと待っていたのです。髭ひとつでも「対象を見ながらでなければ描かない」というこの画家の姿勢を如実に示すエピソードです。

結局、猫は思うようなポーズをとってくれないまま亡くなってしまい、かろうじて左側の髭のみデッサンをもとに描き入れたそうです。ほかにも、熊谷守一、齋藤清、稲垣知雄、桂川寛ら猫を多く手掛けた作家の多彩な表現がご覧いただけます。北海道ゆかりの作家の作品としては、猫のふと

したくさを素早くとらえた中村善策、山田義夫の素描や、今年惜しくも逝去された八木伸子の《二月の室内》(1991年、札幌芸術の森美術館蔵)も見逃せません。猫の姿かたちの造形的な特色を生かしながら、癒しや、野生、神秘性など、猫の限らない魅力をアートが引き出しています。



長谷川瀧二郎《猫》1966年 宮城県美術館蔵

2階展示室では、「三岸ファンタジー」として、《飛ぶ蝶》など当館所蔵の三岸の代表作もご覧いただけます。(北海道立三岸好太郎美術館学芸員

古名 直子)

MUSEUM CALENDAR

2012.9~2013.3

美術館の特別展覧会ご案内

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館	~9/9 東山魁夷展	9/15~11/11 藤田嗣治と愛書都市パリ 一花開く挿絵本の世紀一		11/22~1/20 A★MUSE★LAND☆TOMORROW 2013 サークル○オブ○アート アートあつまる◎ココロあつたまる		2/2~3/24 A INU ART 一風の語り部	
三岸好太郎美術館		9/8~10/21 特別展 <猫>が気になる。 [同時開催]所蔵品展第3期 三岸ファンタジー		11/1~1/20 所蔵品展第4期 ミギシ・つくるのだいすきミュージアム		1/25~3/31 所蔵品展第5期 音楽のある美術館4	
旭川美術館		9/4~11/7 開館30周年記念 北海道新聞創刊70周年 愛のヴィクトリアン・ジュエリー展 華麗なる英国のライフスタイル		11/17~1/14 開館30周年記念 天と地と人と 道北の美術コレクション選		1/22~4/7 開館30周年記念 木の造形100選	
函館美術館		9/15~11/7 棟方志功展		11/17~1/20 <没後30年> 植木蒼悦展		1/26~3/10 ハコビ・コレクション選<天の巻> 1/26~3/21 ハコビ・コレクション選<地の巻>	
帯広美術館		9/7~11/7 オプ・アート展		11/16~1/16 帯広美術館コレクション ヘル・エポックのポスター		1/25~3/24 山に魅せられた画家たち	
釧路芸術館		9/14~11/23 フランス絵画の巨人 クールベ展 美は現実の中にある		11/30~12/24 交差する視点と かたち 2012		1/4~3/22 空もよう・色もよう・心もよう 気象と芸術	
札幌芸術の森美術館	9/8~9/23 交差する 視点と かたち	9/29~11/4 札幌美術展 パラレルワールド冒険譚		11/5~		美術館施設整備のため休館	
札幌彫刻美術館 新記念		9/22~11/11 4つの星 一札幌二中の彫刻家たち		11/17~4/14 コレクション展 本郷新の木彫・石彫(仮称)			

平成24年度移動美術館のご案内

— 道立近代美術館コレクション —

道内各地を巡回する移動美術館が、今年度は初山別村と音威子府村で開催され、近代美術館のコレクションが公開されます。

- 10月 5日(金)~10月 9日(火) 初山別村自然交流センター TEL01646-7-2136
- 10月10日(水)~10月16日(火) 音威子府村公民館 TEL01656-5-3356

入場
無料

近代美術館

A★MUSE★LAND★TOMORROW 2013
サークル〇オブ〇アート

アートあつまる◎アトアつまる
11月22日(木)～平成25年1月20日(日)

子どもから大人まで楽しみながら美術を鑑賞できるアミューズランド・トウモロコシ5回目のテーマは「サークル」です。自然現象や記号化されたモチーフとしての丸、循環や永遠を意味する円、生命のつながりをあらわす輪など、「アートの連環」の意をこめたサークル。当館及び道立美術館のコレクションを中心に、北海道ゆかりの若手作家の作品も交えて紹介します。さら

に、市内中学校との連携企画や、コンサート、トークイベント、ワークショップなどの関連事業を行う予定です。見る人それぞれが作品の魅力を見出し、美術鑑賞のよさを誰かに伝えたいというように「アートの輪」の広がりを期待しています。



増永元
《一粒の海》
作家蔵

三岸好太郎美術館

「ミギシ、ノ、ハ、ダ、ゴ、ス、キ、ノ、ユ、ジ、ア、ム」
11月1日(木)～平成25年1月20日(日)

三岸は絵を描くことに限らず、いろいろなものをつくるのが大好き。小さい子どもたちのために人形や舞台をつくって自作自演の人形劇に興じたり、端切れでネクタイを手作りしたり、焼き物に挑戦したり。晩年にはガラスの使用を試み、さらにモダン建築のアトリエを計画するところまで夢が膨らんでいきます。創造する楽しさは、次々と新展開をめぐる彼の芸術と直結しています。展覧会では、「つくる」ことに対する三岸の関心の幅広さに注目しながら、初期から晩年までの創作の軌跡をたどります。会期中は、紙の蝶をコラーージュしてアートな蝶の標本をつくるなど、手を動かして楽しむ

るコーナーを設けます。

また11月3日にはクラリネットとミュージカル・ソウ(のこぎり)の演奏会、11月10日には三岸のアトリエをテーマとした講演会を実施。12月8日はマール記念日。冬休みには「たんけん美術館」(12月22日～1月20日)や「とっておきワークショップ」(1月11、12日、募集制)などを行います。



三岸好太郎
《ギニョールの舞台》1930年頃
北海道立三岸好太郎美術館蔵

旭川美術館

開館30周年記念
「天と地と人」

道北の美術コレクション選
「木の造形100選」
11月17日(土)～平成25年4月7日(日)

北海道立旭川美術館は、2012年7月、開館30周年を迎えました。これを記念し、「天と地と人」と道北の美術コレクション選」ならびに「木の造形100選」を、11月17日(土)～1月14日(月)、1月22日(火)～4月7日(日)の会期で、連続開催いたします。「道北の美術」ならびに「木の造形」は、当館の作品収集の大きな柱ですが、このテーマに基づき30年間の作品収集活動の成果を一堂にご覧いただくとうるものです。

「道北の美術」では、朝倉力男、佐藤進、神田一明らによる具象絵画の秀作に加え、難波田龍起、山口正城、木原康行など、道北の澄んだ空気を思わせる清冽な抽象絵画の秀作をご紹介します。

また、「木の造形100選」では、戸谷成雄、三沢厚彦、舟越桂らの現代彫刻、黒田辰秋、須田桑翠らの精緻な伝統木工芸、丹野則雄、大門巖らのユニークなクラフトなど、木という素材の魅力を多角的にご覧いただける作品を展示いたします。



佐藤進《館》1980年

函館美術館

没後30年 植木蒼悦展
11月17日(土)～平成25年1月20日(日)

函館に生まれた植木蒼悦(本名悦郎、1896-1982)は、10歳で秋田に移り、そこを訪ねた大下藤次郎の知己を得て水彩画を学びます。1913年、中学卒業後に



植木蒼悦《月より来る》
1948年 江成勇男氏蔵

上京し明治大学に入学、同時に日本水彩画会研究所に通います。しかし、家庭の都合により志半ばで故郷に戻り、函館税関鑑定課に勤務、以降室蘭、博多、中国の大連と渡りながら、職を辞し故郷函館に戻り、画業一筋の生活に入ります。西洋画、水墨画、書、篆刻、さらには俳句など、広い分野で独自の作風を示し、1969年には函館市文化賞を受賞しています。孤高、清貧の画家として知られる一方、世の中の諸相を映すように、変幻自在な表現を見せる独特な「河郎(かっは)」の作品は広く親しまれました。本展では、その「河郎」の世界を中心に、油彩画、書、俳句など約200点の作品を展示、さまざまな分野にわたって展開した植木蒼悦の芸術世界を紹介します。

帯広美術館

オブ・アート展

9月7日(金)～11月7日(水)

「オブ・アート」は「オブ・ティカル・アート」の略称で、錯視効果をともしなう幾何学的な抽象作品を指します。1960年代後半以降、美術のみならずデザインや音楽などの領域



ブリジット・ライリー〈アレストI〉
1965年 北海道立近代美術館蔵
© Bridget Riley 2012.
All rights reserved,
courtesy Karsten Schubert, London

域を巻き込みながらブームを起こしました。色と形にまつわる理論と研究をもとに制作されたオブ・アート作品は、平面なのに立体のようにみえたり、静止しているのに揺れ動いているようにみえたり、絵具の彩色だけなのに光が明滅しているようにみえるなど、私たちの眼の中で、変幻自在にその姿をかえるのです。

本展では、オブ・アートの誕生に契機を与えたJ・アルバースによる版画集《フォーミュレーション・アーティキュレーション》をはじめ、V・ヴァザリ、J・R・ソット、Y・アガム、R・アヌスキ、ウイツ、B・ライリーら代表的な作家による絵画や立体約80点を近代美術館の所蔵品の中からご紹介いたします。3DやVRなどデジタル技術を駆使した映像が身近なものとなった今日、オブ・アートは私たちにあらためて新鮮な感動をとどけてくれるにちがいありません。

釧路芸術館

フランス絵画の巨人

クールベ展―美は現実の中にある―

9月14日(金)～11月23日(金祝)

19世紀の画家・ギュスターヴ・クールベ(1819―1877)は、当時のフランス画壇で主流となっていた宗教や神話などの世界を描くことを否定し、目に見えないものは描かないという姿勢を貫きました。現実をありのままに表現する「写実主義」の代表的画家として、多くの傑作を残しました。身近な風景や人物などを客観的に観察し描写した彼の姿勢は、印象派やその後の画家たちに大きな影響を与えました。

本展は、クールベの生地オルナンのギュスター

ヴ・クールベ・インスティテュートの協力を得、クールベの作品、晩年の彼を支えた画家たちとの共同制作作品、クールベを慕う画家たちによるクールベへのオマージュ作品、そしてドミニエなどによるクールベの風刺画など、フランスから借用した約110点の貴重な作品をご紹介します。

近代美術の開拓者として革命を起こしたクールベの芸術を辿ります。



ギュスターヴ・クールベ〈トゥール・ヴィルの黒い岩〉1865年頃 個人蔵

札幌芸術の森美術館

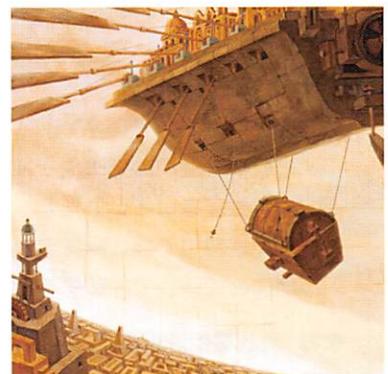
札幌美術展

パラレルワールド冒険譚

9月29日(土)～11月4日(日)

私たちが今暮らしている、この世界。私たちはこの中で、色々なものを見て、聞いて、触れて、嗅いで、味わって、生活しています。でも、私たちがその五感で感じ得ない、どこか違った場所、別の世界が存在しているかもしれない、そんなことを考えたことはありませんか？

それが「パラレルワールド」です。そこでは、動物たちが人間のようふるまい、世の中を統べているかもしれませんし、建物が空を飛んでいたりするかもしれません。本展は、そんなパラレルワールドへの旅を、札幌・北海道を中心に活躍する作家たちの表現



平向功一〈バンドラの帰還〉2011年

をとおして体感する展覧会です。不思議な世界を行く冒険の旅へ、さあ、出発しましょう。

【出品作家】浅井憲一、一原有徳、果澄、紅露はるか、佐藤武、佐藤克教、武田浩志、谷口一芳、坂東史樹、久野志乃、平向功一、森川ヒロシ、山本祐蔵、矢元政行

本郷新記念札幌彫刻美術館

4つの星―

札幌二中の彫刻家たち

9月22日(土)～11月11日(日)

本郷新(1905―1980)、山内杜夫(1907―1975)、佐藤忠良(19



佐藤忠良〈冬の子供〉1965年
札幌芸術の森美術館蔵

12―2011)、本田明二(1919―1989)は、いずれも今年創立100周年を迎えた旧札幌第二中学校(現北海道札幌西高等学校)に学び、戦後日本で活躍した彫刻家です。本展では、4人がそれぞれに築き上げた独自の作品世界を紹介するとともに、新作制作協会という共通の基盤のなかで互いに刺激し合いながら制作に励んだ彼らの影響関係を探ります。

また、高村光太郎を通じて紹介され、彼らを含む当時の日本の彫刻家たちに多大な影響を与えたオーギュスト・ロダンをはじめ、アントワヌ・ブールデル、ジャール・デスピオ、アリスティド・マイヨールといったフランス近代彫刻の巨匠たちの名品も合わせてご紹介いたします。

A・RE・KO・RE information

三岸好太郎美術館 イベント・ピックアップ

●ミニ・リサイタル

若手音楽家による演奏会です。
これからの演奏予定

11月24日(土) **12月15日(土)**
1月26日(土) **2月23日(土)**
3月23日(土)

(開演時間はいずれも14時から、入館者は無料です)

無料開放 **11月3日(土)** アートウィークコンサートを開催

●オリジナル・スイーツ・デー

今年で3年目となる
オリジナルスイーツ。

毎回好評で数量限定
のため売り切れの場合
があります。

写真は、7月に販売
された貝の作品をイメージしたグミです。



これからの販売予定

9月28日(金) **11月30日(金)**
2月8日(金)

●マール記念日

12月8日(土)

当館を舞台とした絵本「お化けのマールとちいさな
びじゅつかん」の発行記念日です。

当日は新作の読み聞かせ会とプレゼントを準備して
います。

美術館割引のある駐車場のご案内

「ビッグシャイン88北1条駐車場」(北1条西15丁目)

○近美・三岸ともに20分間(100円)が無料。

それぞれ館内の押印機で押印してください。

○身体障害者は1時間無料。

駐車場窓口で身体障害者手帳を提示する。

館内の押印機で押印すると適用できなくなります。

なお、近代美術館南側の「美術館駐車場」は閉鎖されました。

ご存知ですか? ギャラリーツアー

近代美術館では、常設展示室(これくしょんギャラリー)の
数ある名品を解説ボランティアが丁寧にご案内!
グループでの参加も受け付けています。

日 時 火～金曜日 ①11:30～
②13:00～
③14:00～
土～日曜日 ①13:00～

所要時間 約30分(祝祭日を除く)



※ご希望の方は直接展示室へお越しください。
グループでのお申し込みは10日前迄に、
事業課 011-644-6882 までご連絡願います。
(常設展示室の観覧は有料となります)

[アート・クラブ]

これからのご案内

アルテピアボランティアによるワークショップが年
4回開催されています。

今後の予定は11月3日(土)ジュニアアートクラ
ブ2012(募集制)、平成25年2月16日(土)ア
ートクラブ2013
(来館者参加自由)
となっております。

写真は5月に
作成した布製エ
コバッグです。



この催しについてのお問い合わせは

アルテピア(北海道美術館協会)まで。

Tel.011-644-4025 <http://www.artepia.or.jp>



事務局だより

平成24年度 通常総会の報告

去る5月30日、近代美術館講堂において通常総会が開催され、会長の挨拶に続き議案の審議が行われ、原案通り承認可決されました。

総会終了後は会場を1階ロビーに移して、恒例の「つどい2012」が開催されました。

吉野会長 挨拶要旨

皆様には日頃から当協力会の活動に非常に活発に参加され、会の運営をリードされていますことに感謝申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災、それに伴う原発の事故、これらにより大変な1年でありました。

当協力会の運営については、ここ数年収支が悪くなっており、今年度も過去の流れによりますますじり貧になる恐れにあります。平成24年度は今までの流れを断ち切って、新たな再生に向けていく重要な年になると思っております。

今年度活動の3つのポイント。

1. 活動の活発化、魅力ある協力会に取り組むこと。
2. 赤字を脱却するためには会員増が求められています。早急に理事会内部に検討委員会を作り、具体的な方策と当協力会がどうあるべきかを検討していきたい。
3. 今日の課題であります法人制度の改正に伴って、当協力会は社団法人から一般社団法人に移行するため、今日の総会でご承認をいただいて移行手続きを行い、一般社団法人の移行が活性化への良い機会になると思っております。

組織一丸となり、更に努力していきますので会員の皆さまの一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

議案審議等の概要

議案第1号 平成23年度事業報告、収支決算報告について

報告通り承認可決されました。

近代美術館の改修工事に伴って、約4ヶ月半が休館となりましたので、例年と比較すると事業の実施状況は、減少されております。(収支決算については表1の通り)

議案第2号 平成24年度事業計画、収支予算案について

原案通り承認可決されました。

事業計画は、基本的に従来から実施している事業がベースとなっております。(収支予算については表2の通り)

議案第3号 会員の資格喪失について

原案通り承認可決されました。

議案第4号 一般社団法人への移行について

原案通り承認可決されました。

平成25年4月1日からの一般社団法人の認可のため、諸手続きを行います。

議案第5号 定款の変更について

原案通り承認可決されました。

議案第6号 一般社団法人移行後の会費規程について

原案通り承認可決されました。

議案第7号 役員改選について

本年度は役員改選期にあたり、原案通り承認可決されました。

報告事項 駐車場の運営について

北海道との土地等の賃貸借により運営してきた駐車場について、平成24年7月8日の大原美術館展の最終日をもって、駐車場の運営を終えることになりました。

平成24年度(社)北海道美術館協力会役員名簿

(* 新任役員)

会 長	吉野 次郎	理 事	石黒 勇治	菅 伸之	棟 徹夫	堀 利幸	監 事	金谷 英男
副 会 長	澤 宣彦		魚住 昌也	杉本 互	長峯 慰子	山 恒雄		山田 勇
	小林 敬明		金井 英明	高橋 英雄	名畑 節子	和田 壬三		
	山口 節子		腰塚 清一	谷 紘子	納谷 信二			
専務理事	藤井 勇吉		*小砂 憲一	*戸井 敏夫	藤井 正治			

(表1)平成23年度収支決算総括表(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部						支 出 の 部					
科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去	科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去
			売店会計	駐車場会計					売店会計	駐車場会計	
基本財産運用収入	2,400	2,400	0	0	0	事業費支出	41,215,990	11,104,943	19,395,745	10,715,302	0
特別収入	2,898	2,898	0	0	0	管理費支出	6,604,613	6,604,613	0	0	0
会費収入	8,662,000	8,662,000	0	0	0	特定資産取得支出	2,898	2,898	0	0	0
事業収入	27,579,988	1,756,000	14,853,085	10,970,903	0	他会計への繰入支出	4,500,000	4,500,000	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0						
特定資産取崩収入	12,900,000	12,900,000	0	0	0						
他会計からの繰入収入	4,500,000	0	4,500,000	0	0						
雑収入	6,020	5,302	279	439	0	当期支出合計	52,323,501	22,212,454	19,395,745	10,715,302	0
当期収入合計	53,653,306	23,328,600	19,353,364	10,971,342	0	当期収支差額	1,329,805	1,116,146	△42,381	256,040	0
前期繰越収支差額	547,528	313,162	187,453	46,913	0	次期繰越収支差額	1,877,333	1,429,308	145,072	302,953	0
収入合計(B)	54,200,834	23,641,762	19,540,817	11,018,255	0	支出合計(B)	54,200,834	23,641,762	19,540,817	11,018,255	0
予算額(A)	46,563,000	19,498,000	16,188,000	10,877,000	0	予算額(A)	46,563,000	19,498,000	16,188,000	10,877,000	0
差異(A-B)	△7,637,834	△4,143,762	△3,352,817	△141,255	0	差異(A-B)	△7,637,834	△4,143,762	△3,352,817	△141,255	0

(表2)平成24年度収支予算総括表(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

区 分	収 入 の 部					支 出 の 部				
	科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考	科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
一 般 会 計	基本財産運用収入	10	10	0	定期預金利息	事業費支出	7,470	12,420	△4,950	
	特別収入	10	10	0	美術振興基金利息	美術活動協力事業費	6,685	5,958	727	V活動経費、会報・部内報印刷費、 会員観覧料等経費
	会費収入	9,192	9,864	△672	法人、個人会員等年会費	美術講座等開催事業費	715	660	55	美術講座資料作成費・ つどい経費等
	事業収入	1,400	1,580	△180	美術講座受講料・つどい会費等	美術展研究振興事業費	10	42	△32	美術研修視察事前研修経費等
	寄付金収入	0	10	△10		美術優秀創作展事業費	60	60	0	協力会賞の贈呈経費
	雑収入	11	11	0	普通預金利息	絵画購入事業費	0	5,700	△5,700	
	他会計からの繰入収入	0	0	0		管理費支出	5,820	6,199	△379	運営管理費
	特定資産取崩収入	1,300	7,700	△6,400		当期支出合計	13,290	18,619	△5,329	
	当期収入合計	11,923	19,185	△7,262		当期収支差額	△1,367	566	△1,933	
	前期繰越収支差額	1,429	313	1,116		次期繰越収支差額	62	879	△817	
収入合計	13,352	19,498	△6,146		支出合計	13,352	19,498	△6,146		
特 別 会 計	売上収入等	22,000	16,000	6,000	売上収入	事業費支出	22,140	15,933	6,207	仕入、賃金、施設賃借料等
	雑収入	1	1	0	預金利息	他会計への繰入支出	0	0	0	
	当期収入合計	22,001	16,001	6,000		当期支出合計	22,140	15,933	6,207	
	前期繰越収支差額	145	187	△42		当期収支差額	△139	68	△207	
	収入合計	22,146	16,188	5,958		次期繰越収支差額	6	255	△249	
駐 車 場 会 計	駐車料金収入	2,810	10,830	△8,020	駐車場利用収入	事業費支出	3,113	10,818	△7,705	管理委託料、土地借上料等
	雑収入	1	1	0	預金利息	他会計への繰入支出	0	0	0	
	当期収入合計	2,811	10,831	△8,020		当期支出合計	3,113	10,818	△7,705	
	前期繰越収支差額	302	46	256		当期収支差額	△302	13	△315	
	収入合計	3,113	10,877	△7,764		次期繰越収支差額	0	59	△59	
内部取引消去	0	0	0		内部取引消去	0	0	0		
総 合 計	38,611	46,563	△7,952		総 合 計	38,611	46,563	△7,952		

つどい2012

平成 24 年 5 月 30 日総会終了後、午後 5 時 45 分から近代美術館 1 階ホールで、百人を超える会員が参集して立食パーティが開催されました。主催者代表の挨拶に始まり、乾杯ののち宴会に入りました。今回は、秋に予定されている南ドイツ研修旅行にちなんだ楽曲がヴァイオリンとピアノによって演奏され、参加者は音楽や料理を楽しみながら親睦を深めました。



ミニ・アトリエ「万華鏡を作ろう」 ミュージアム・スクール2012

7 月 28 日（土）から 8 月 19 日（日）の間、子供たちを対象としたミニ・アトリエが開催されました。



キットを使った万華鏡づくりに夢中になり、出来上がった作品を見せあって楽しんでいる様子を、テレビ局が取材にきていました。



アルテピア ニュース

ぐるっと3館鑑賞ツアー

6 月の金曜日、3 回にわたり各回 15 名定員で三岸好太郎美術館、知事公館、近代美術館を巡るツアーを実施しました。三岸美術館で学芸員によるオリエンテーションに続き、ボランティアの作品解説ののち、自慢のオリジナル・スイーツでコーヒータイム。

次は知事公館。庭園にある 2 点の彫刻作品について解説のあと入館です。館長から公館の歴史などをうかがい、館内を見学。その後は近代美術館で、開館 35 周年記念



小雨のなか、三岸美術館から知事公館へ向かう参加者

のコレクションへの招待展を鑑賞しました。最終回は生憎の雨でしたが、参加された方々は堪能されたご様子でした。

近美に小学生を招待!

昨秋の台風により延期されていた当会主催の「子ども美術鑑賞事業」が、平成 24 年 2 月 23 日に行われ、札幌市立光陽小学校の 6 年生 81 名を近美に招待しました。

子どもたちは、7 班に分かれて「ヨーロッパ版画の巨人たち デューラー、レンブラントからムンク、ピカソまで」と「FANTASY 花田和治の色と形」のボランティアによる解説



ツアーに参加。その後、特別展「北海道銀行コレクション」を鑑賞しました。



編集だより

- 節電に追われた夏が過ぎ、気がつけば見上げた空には赤く染まったナナカマド。「東山魁夷展」の深遠な世界に冷んやりと心地好い時を過ごしたのは何時のことだったか。まったく時の経つのは早いものです!
- ロンドンオリンピックに沸いた今夏、編集スタッフに新たに 3 人の新人が参入しました。陸上競技よろしく軽いフットワークで作業をこなす逸材ぞろい。今後が大いに楽しみです。
- 秋といえば美術鑑賞! 道内各地の美術館めぐりには、本誌「MUSEUM CALENDAR」を是非ともおそばに。(M)

美術ミステリーなど

- 大原美術館展は盛況でした。そこでフィクションですが、同館監視員が主人公として登場する読み物をご紹介します。「楽園のカンヴァス」原田マハ著 新潮社 2012.1 302p 1,680円 ルソーの一枚の絵の真贋をめぐる美術ミステリーで、日本ではめずらしいうちくものと高い評価を得ています。(3/25 朝日新聞書評欄) 学芸員クリスシリーズでレンブラント作品の真贋判定が題材となっている「画商の罟」(A.エルキンズ:ハヤカワ文庫)と読み比べるのも一興です。
- ネット上で世界中の名画(約3万点)を見られる Google art Project に、日本の美術館・博物館も参加しました。展示室を「歩き回る」こともできます。70億画素という高解像度です。Google chrome というブラウザが必要ですが無料でダウンロードできます。(U)

ひとくち
メモ